

挑戦すること

中部学院大学人間福祉学部

チョウ シユ

2023 年度文部科学省学習奨励費受給者

私が介護福祉について学び始めたきっかけは、祖母が特別養護老人ホームに入所しており、食事や着替え、トイレなど介護スタッフの方に大変お世話になったことでした。介護スタッフとのコミュニケーションを通して、介護福祉について少しずつわかるようになりなした。その時、「祖母のように日常生活に支障のある高齢者の生活を支え、快適な生活を送り、身体の負担を少しでも減らしたい。」という思いが強くなりました。そして、日本へ行き介護福祉を学ぶと決意しました。

留学する前にはもちろん少し日本語を学んでいましたが、初めて日本に来た時、私が直面したのは言葉の壁で、コミュニケーションするのがとても難しかったです。相手が言いたいことは大体わかるのですが、自分の思いを日本語で話すことができません。食事、人間関係、社交マナーなど、異文化に慣れることも難しい場面があります。孤独もよくある問題で、家や家族から離れると孤独やホームシックを感じることもよくあります。それだけではなく、日常生活で何か問題が生じた場合には、自分の力でコミュニケーションをとって解決しなければなりません。それに加えて、学業上の課題もストレスを感じさせました。特に、カタカナの専門用語をたくさん覚えなければならず、宿題も多いうえに、新しい学習法や指導法に適応しなければならず、大きなストレスでした。

しかし、いま思えば、私はこれらの困難もすべてより良い成長のためであると思います。これらの困難を乗り越えるために一生懸命学ぶことによって、私は多くの新しいスキルと知識を学び、より強くなりました。そして、これらの挑戦は私をより成熟させ、自信を与えてくれるので、挑戦する価値があると考えています。後輩のみなさんも将来の夢や目標を達成できるように自分を信じて、よく学び、よく行動してください。